

医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院病理診断科では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】

顕微鏡写真を用いた胆道・膵腫瘍の診断者間一致性の研究

【研究期間】

福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2025年12月31日

【研究の目的】

胆道・膵に種々の腫瘍が発生するが、その病理診断に関して、未だ不明確な腫瘍も残されている。国内外で、これらの腫瘍の病理診断基準の作成が試みられており、本研究もこの診断基準の作成に向けた研究である。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

対象は、2002年7月～2022年5月の期間内に、当院で外科的に切除された胆道・膵腫瘍20例、同時期に外科的に切除され、申請者にコンサルトされた胆道・膵腫瘍60例(コンサルト依頼施設は静岡県立がんセンター、千葉県立がんセンター、静岡医療センターなど8施設)。

2. 研究に用いる試料・情報

当院で外科的に切除された胆道・膵腫瘍、同時期に外科的に切除され、申請者にコンサルトされた胆道・膵腫瘍を用いる。既に外科的切除後のパラフィン包埋標本を用い、薄切、染色(通常染色)を行うものであり、本研究による患者個人への侵襲、介入はない。患者個人への不利益や危険性はない。

3. 研究の方法

上記試料より、光学顕微鏡写真を作成し、これを申請者を含め11名の病理医に配布し、病理所見の記載、診断を行う。その後、診断者間の一致率、不一致率などを検討し、胆道・膵腫瘍の病理診断基準の作成を行う。

【共同研究機関及び研究責任者】

1. 研究代表施設および研究統括者

福井県済生会病院 病理診断科 顧問・部長 中沼 安二

2. 共同研究施設等およびその研究代表者

金沢大学医学系研究科人体病理学 佐藤 保則

順天堂大学医学部靱帯病理病態学講座 福村 由紀

久留米大学附属病院病理部 内藤 嘉紀

佐賀大学医学部病院病態科学 相島 慎一

静岡県立がんセンター病理診断科 角田 優子

東北大学医学系研究科病態病理学 古川 徹
慶応大学医学部病理学教室 尾島 英知
ヨンセイ大学医学部病理学教室（韓国） Young Nyun Park
石川県立中央病院病理診断科 湊 宏
カタス医学センター病理（香港） Wilson Tsui

【当院における研究責任者】

福井県済生会病院 病理診断科 顧問・部長 中沼 安二

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1 福井県済生会病院

病理診断科 顧問・部長 中沼 安二

電話：0776-23-1111（代表）